

高瀬川の「瀬切れ」解消のため 「追加放流」を実施！

大町ダムでは、8月9日に高瀬川において「瀬切れ」が確認されたため、ダムから8月9日17時30分より、通常放流量に追加して水を流す「追加放流」を開始し、14日9:00に終了しました。

1. 経過

8月 9日 16:00 現地にて瀬切れを確認

8月 9日 17:30～ 毎秒1.0m³の追加放流開始

8月13日夜から14日早朝にかけての降雨により、高瀬川の流量が回復

8月14日 9:00 追加放流を終了

※追加放流総量は約36万m³

2. 瀬切れの定義

瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象です。川本来の「流れ」をなくし、川の一部が途切れることにより魚類等の高瀬川に棲む生物に大きな影響を与えます。

大町ダムでは、河川水深が対象魚類の移動できる限界の水深である約15cmを下回った状態を「瀬切れ」としています。

対象魚類・・・ウグイ、アユ、ヤマメ、カジカ等



瀬切れ発生状況

8月9日(木)16:00頃



瀬切れ解消状況

8月14日(火)10:00頃